

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2) 地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(6/14)

	評価区分 (※)	評価結果 (IとIIと IIIの平均 値)	I 目標に向けた 取組の進捗に 関する評価	II 支援措置の活 用と地域独自 の取組の状況	III 総合評価	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
みえライフイノベーション総合特区 (三重県)	正	3.8	<p>進捗度 医療・福祉現場ニーズの収集件数 127%</p> <p>医薬品・医療機器生産金額 ・医薬品 77% ・医療機器 95%</p> <p>研究開発支援拠点プラットホームの活用 機関数 ・県内 267% ・県外 322% 等</p>	<p>規制の特例等 健康増進に資する機能性食品の効能効果の表示・広告の実施</p> <p>財政支援等 みえライフイノベーションプラットホーム整備事業</p> <p>地域活性化総合特区支援利子補給金 3件 等</p> <p>地域独自の取組 医療・福祉機器等研究開発補助金 等</p>	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの進捗管理のための指標において、達成状況が相対的に高く、順調な推移を示しており、特に研究開発支援プラットホームの活用等は、イノベーションのシーズ育成に長期的にも貢献しうるものとして高く評価できる。また地域独自の積極的な取組も評価できる。 ・統合医療情報データベースの構築については、なぜ整備が進まないのかの要因を詳細に検討し、可能な範囲で当初の計画を見直すことも必要だと考えられる。また、データベース構築のみならず、その後の維持管理・更新に係る恒常的な資金計画も示すべきである。 ・医薬品生産金額については、薬価引き下げや消費税による減少分を加味しても、目標額との乖離が大きくなっていることから、減少分の具体的な要因把握が不可欠である。

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)